
アキレス腱断裂診療のコツと 最近のトピックス

日本では、世界規模のラグビーワールドカップ2019日本大会（RWC2019）、延期になりました2020年東京オリンピック・パラリンピック、ワールドマスターズゲームズ2021関西が開催されます“奇跡の3年”を迎え、スポーツ熱がますます高まっています。

スポーツ実施の機会の増加に伴いスポーツ外傷・障害も増えますが、中でもスポーツ愛好家や競技者にとりアキレス腱断裂は非常に発症頻度の高いスポーツ外傷で、保存的・手術的治療法も多様化し、様々な民間療法や誤解・独善的な手技手法などが報告されています。このことを受け日本整形外科学会からエビデンスに基づいた正しい方向性を示すための診療ガイドラインとして、2007年に『アキレス腱断裂診療ガイドライン』が刊行され、2019年に治療法や予後・予防法を中心に改訂された改訂版が発行されています。今回は、初療にあたるレジデント向けに必須の書として企画しましたので、テーマを「アキレス腱断裂診療のコツと最近のトピックス」としました。

本特集では、上述のガイドライン執筆者を中心に臨床の最前線で活躍されていますエキスパートの先生にお願いし、レジデントならびにメディカルスタッフにとって必要なエッセンスを執筆していただきました。

アキレス腱断裂に関し、「総論：機能解剖、治療戦略」「疫学」「病因・病態：腱の変性、外的・内的因子」「診断：医療面接、身体診察、画像検査」「保存療法：装具療法、早期運動療法」「手術療法：経皮的縫合術、直視下手術、超音波・関節鏡併用」「予後：社会復帰、スポーツ復帰」「合併症：深部静脈血栓症」「新たな治療法」の項目で、実臨床に即した基本的事項から最新の話題に関するエッセンスを概説していただいております。ただし、誌面の制約上、またエビデンスが不足のためとりあげることでできなかった治療法などもありますことをご容赦ください。

また、本特集号は、「イラスト・写真・画像」を多用した大変わかりやすい内容になっています。スポーツ整形外科専門の医師のみならず、初療で担当するレジデントやメディカルスタッフを含めたすべての医療関係者にとり意義のある一冊になったものと考えています。

最後にご多忙の中、本特集号にご執筆いただきました先生方に改めまして深謝するとともに、本特集号がアキレス腱断裂の診療にあたる際に傍らに置かれ、読者の皆様のお役に立つことを祈念し、序文の挨拶といたします。

（帖佐悦男）